

2023 年 4 月 5 日
東京海上ホールディングス株式会社

衛星データを活用した新たな宇宙保険商品やサービスの開発に向けて アクセルスペースと資本業務提携契約を締結

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO:小宮暁、以下「当社」)は、衛星から取得するデータを活用した新たな宇宙保険商品やサービスの開発に向けて、小型人工衛星の開発から製造、打上げ、運用までを一貫して行っている株式会社アクセルスペースホールディングス(代表取締役:中村友哉、以下「アクセルスペース」)と資本業務提携契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 背景

宇宙関連技術の進展により高品質の小型人工衛星を低コストで打ち上げることが可能となり、地球の低軌道(高度 600-1,000 キロ)エリアに向けて高性能なカメラやセンサーを搭載した衛星を打ち上げ、さまざまなデータを取得・活用していく動きが世界的に活発になっています。日本においても官民連携のもと、さまざまな分野において小型人工衛星の活用が検討されています。

こうした中、当社は、日本の宇宙スタートアップの先駆けとして 2023 年 4 月現在で 9 機の小型人工衛星の開発および打ち上げ・運用に成功しているアクセルスペースと、小型人工衛星を活用した新たなソリューションを開発するため、資本業務提携契約を締結しました。

2. 主な取り組み

国際宇宙保険市場にて 30 年以上にわたって宇宙保険の引受を行ってきた東京海上グループの東京海上日動火災保険株式会社(以下「東京海上日動」)がもつ経験・ノウハウと、アクセルスペースが持つ小型人工衛星分野における技術力や衛星から取得されるデータを活かし、主に以下の分野で新たな宇宙保険やサービスの開発を進めていきます。

① 小型人工衛星向けの新たな宇宙保険の開発

東京海上日動は、アクセルスペースがもつ小型人工衛星の開発・製造に関するデータを分析し、小型人工衛星専用の宇宙保険開発を進めていきます。また、アクセルスペースが展開する小型人工衛星向けサービス「AxelLiner[※]」と連携し、デジタルを活用したシンプルな宇宙保険加入プロセスの構築を進めていきます。

※ 小型人工衛星プロジェクトに関わるプロセスをパッケージ化し、統一したインターフェイスで提供するサービス

② 光学衛星画像を活用したサービス開発

東京海上日動は、アクセルスペースが展開している地球観測データ事業「AxelGlobe」において提供される世界各地の高解像度の光学衛星画像[※]を活用し、グローバルに事業を展開している企業の迅速な災害対応を支援するサービスの開発を進めていきます。

※ 光学センサーを搭載した衛星から取得する画像で、地上の対象物を視覚的に観測することが可能。

3. 株式会社アクセルスペースホールディングスの概要(<https://www.axelspace.com/ja/>)

- (1)社名:株式会社アクセルスペースホールディングス
- (2)本社所在地:東京都中央区日本橋本町三丁目 3 番 3 号 Clip ニホンバシビル
- (3)代表者:代表取締役 中村 友哉
- (4)主な事業内容:小型人工衛星による地球観測事業、小型人工衛星等を活用したソリューションの提案、小型人工衛星及び関連コンポーネントの設計及び製造、小型人工衛星の打ち上げアレンジメント及び運用支援・受託

以 上